

福岡医発第1857号(地)

平成16年 1月16日



各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 関 原 敏 次 郎



鳥インフルエンザに関するQ&Aの送付について

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、国内の鶏（ニワトリ）からの高病原性鳥インフルエンザの検出につきましては、平成16年1月14日付（福岡医発第1834号）にてお知らせしておりますが、今般、厚生労働省において、鳥インフルエンザに関するQ&Aが作成された旨、日本医師会感染症危機管理対策室より連絡がありました。

本Q&Aは、厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/>）において、適宜更新されるとのことです。

つきましては、貴会におかれましても本件につきましてご了知いただきますとともに、貴会会員等への周知方よろしくご高配の程お願い申し上げます。

小郡三井医師会より

担当理事 友清 明

(地 246F)
平成16年1月15日

都道府県医師会

感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長

雪 下 國 雄

鳥インフルエンザに関するQ & Aの送付について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、国内の鶏（ニワトリ）からの高病原性鳥インフルエンザの検出につきましては、平成16年1月13日付（地 242F）をもってお送りいたしました。

今般、厚生労働省において、鳥インフルエンザに関するQ & Aを作成いたしました。本Q & Aは厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/>）において、適宜更新されるとのことです。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただき、貴会管下郡市区医師会等に対し周知いただきますようよろしくお願い申し上げます。

■ 鳥インフルエンザに関するQ&A（平成16年1月14日改訂）

Q 1：高病原性鳥インフルエンザとは、どのような病気ですか？

トリも A 型インフルエンザウイルスの感染を受けますが、トリのウイルスはヒトのインフルエンザウイルスとは異なったウイルスです。鳥類のインフルエンザは「鳥インフルエンザ」と呼ばれ、このうちウイルスの感染を受けた鳥類が死亡し、全身症状などの特に強い病原性を示すものを「高病原性鳥インフルエンザ」と呼びます。鶏、七面鳥、うずら等が感染すると、全身症状をおこし、神経症状（首曲がり、元気消失等）、呼吸器症状、消化器症状（下痢、食欲減退等）等が現れ、鳥類が大量に死亡することもまれではありません。

Q 2：これまでにどのような国で発生していますか。

香港(H5N1 型：1997 年，2003 年)、米国(H5N2 型：1977 年，2003 年)、オランダ(H7N7 型：2003 年)、ドイツ(H7N7 型：2003 年)、韓国(H5N1 型：2003 年)、ベトナム(H5N1 型：2004 年)等世界各地で発生しています。日本では、1925 年以来発生はありませんでした。

Q 3：これまでにヒトに感染した例はありますか？

1997 年香港において H5 鳥インフルエンザに 18 名が感染、6 名が死亡していますが、ヒトからヒトへの感染はありませんでした。2003 年 2 月、同じく香港において H5 鳥インフルエンザウイルス感染が 2 名で確認され、うち 1 名は死亡していますが、その後の感染の拡大はありませんでした。2003 年 3-4 月オランダでは H7 鳥インフルエンザウイルス流行の際に、防疫に従事したヒトを中心に数十人のヒトが結膜炎を、十数人インフルエンザ様症状を呈しました。死亡した獣医師 1 名の肺から鳥インフルエンザウイルス H7N7 が分離されており、家族内での感染がみられています。

Q 4：どのようにヒトに感染するのですか？

これまでのところ、まれにトリからヒトへの感染は見られた（数十例ほど）ものの、ヒトからヒトへの感染についてはオランダで疑わしいとの報告がわずかにあるのみです。またヒトが鳥インフルエンザウイルスの感染を受けるのは、病鳥と近距離で接触した場合、またはそれらの内臓や排泄物に接触するなどした場合が多く、鶏肉や鶏卵からの感染の報告はありません。

Q 5：ヒトにはどんな症状がでますか？

オランダの例(H7 型)では結膜炎が主な症状でしたが、一部の感染者では呼吸器の症状も見られています。香港の例(H5 型)では発熱、咳などのヒトの一般的なインフルエンザと同様のものから多臓器不全に至る重症なものまで様々な症状がありました。死亡の主な原因は肺炎でした。

Q 6 : ヒトではどのような予防方法がありますか？

鳥インフルエンザに対する有効なワクチンは、現在のところありません(研究、開発が行われています)。本人の万が一の感染を避けるために、また付着したウイルスを他の地域のニワトリに拡げないために、鳥インフルエンザの流行が見られている鶏舎などへの出入りは、用事のない限り避けて下さい。用事があって鶏舎に出入りするときは、手袋、医療用マスク、ガウン、ゴーグルなどの着用、手洗いの励行などの、基本的な感染予防対策が必要です。

通常の生活の中で、現段階では鳥インフルエンザウイルスに関する特別な予防を行う必要はありません。

Q 7 : ペットでニワトリや小鳥を飼っていますが大丈夫ですか？

これまでの科学的知見によれば、鳥インフルエンザが鶏やアヒルの他にも、色々な種類のトリに感染することが知られていますが、国内で鳥インフルエンザが発生したために、これまでペットとして家庭などで飼育していたトリが直ちに危険になるということはありません。

トリや動物は、ヒトへの感染の有無は別として、ヒトとは異なるウイルスも、ヒトと共通のウイルスも保有することが知られています。

トリに限らず、動物を飼う場合は、動物に触った後は手を洗うこと、糞尿は速やかに処理して動物のまわりを清潔にすることなどを心がけることが重要です。また、動物の健康状態に異常があった場合は獣医さんに、飼い主が身体に不調を感じた場合は早めに医療機関を受診することも大切です。

Q 8 : ヒトのインフルエンザワクチンは鳥インフルエンザに対して有効ですか？

現在使用されているヒトのインフルエンザワクチンはヒトの間で流行している A ソ連(H1N1)、A 香港(H3N2)、および B 型に対して効果のあるもので、H5 や H7 などの鳥インフルエンザに対しては効果がありません。

Q 9 : 鳥インフルエンザにヒトが感染した場合、どのような診断方法と治療方法がありますか？

鳥インフルエンザはヒトで流行しているソ連型（H1N1）や香港型（H3N2）とは異なりますが、大きな分類ではいずれも A 型インフルエンザウイルスに属するものです。ヒトの A 型インフルエンザウイルスの診断に使う迅速診断キットで、鳥インフルエンザウイルスを検出することは可能ですが、どの型のウイルスに感染したかの同定は、分離されたウイルスの抗原解析や遺伝子の検査など、さらに細かい解析を行う必要があります。A 型インフルエンザの治療に用いられている抗インフルエンザウイルス薬も、鳥インフルエンザに効果があるといわれています。

Q 1 0：鶏肉や鶏卵を食べて、感染することがありますか？

食品としての鳥類（鶏肉や鶏卵）を食べることによってヒトが感染をした例はありません。

Q 1 1：高病原性鳥インフルエンザウイルスが存在した鶏肉や鶏卵を食べても大丈夫ですか？

我が国では、これらの病原性の高い鳥インフルエンザは、家畜伝染病予防法上、家畜伝染病（法定伝染病）として位置づけられており、発生した場合は、鳥の間での拡大を防ぐために発生の届出、隔離、殺処分、焼却又は埋却、消毒等のまん延防止措置が実施されることになります。したがって、これらの感染鳥やその卵が食品として市場に出回ることはありませんし、Q10 のように、食品としての鶏肉、鶏卵などからの感染はないと考えられます。なお、インフルエンザウイルスは、加熱（75 で1分）により死滅します。

Q 1 2：山口県の事例への対策は、どのようなものですか？（感染した鶏の処分は？）

今回の事例では、ニワトリでの高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたものであって、ヒトへの感染は確認されていません。

現在、農林水産省では、以下のような、家畜防疫の観点での対応を進めています。

- ・当該農場の飼養鶏全羽の殺処分、消毒
 - ・半径30km以内の区域の周辺農場における移動の制限、疫学調査の実施
- また、厚生労働省では、ヒトへの感染の防止や、万が一の患者の発生に備え、以下の対策を進めています。
- ・これまで、鶏肉や鶏卵の摂取によるヒトへの感染は報告されていないものの、念のため、当該農場に対し、出荷された鶏卵の自主回収、関係者の健康状態の確認、感染防御の徹底を指導
 - ・万が一、患者が発生した場合に備えて、医療機関などに高病原性鳥インフ

ルエンザが疑われる患者に関する情報提供の協力要請など、迅速な情報の把握

このような取組を通じて、ヒトの健康被害の発生防止に努めています。

Q 1 3 : 発生農場の鶏の殺処分等に関わる養鶏従事者・獣医師等の感染防御は、どのようなものですか？

・ニワトリの殺処分と死体処理、検査などにあたっては、感染が疑われるニワトリの体液、排泄物等による汚染に注意し、作業に従事する者はそれらの体液等に直接触れたり、吸い込まないように、ガウンを着用し、手袋をつけ、ゴーグル、医療用マスク等で防御すべきです。また作業終了後は、石鹸、流水による手洗いが必須です。院内感染予防対策におけるマスク、手袋、ゴーグルの装着、手洗いの方法などを参考に作業前に練習と確認を行い、確実に実施できるようにして下さい。

・作業に従事した者およびその家族については、健康状態に留意し、発熱などインフルエンザ様症状の出現などの体調に異常があった場合は、その旨を医療機関に伝えた上で直ちに診療を受けて下さい。

・万が一、国内でトリからヒトへの感染が確認された場合は、感染者に対しては直ちに抗インフルエンザウイルス薬による治療が必要です。さらにその家族など周辺の人々へは抗インフルエンザウイルス薬の予防投薬を行うことを考慮すべきです。

Q 1 4 : 外国でも発生していると聞きますが、海外旅行は大丈夫ですか？国内での旅行や移動はどうでしょう？

現段階では、鳥インフルエンザウイルスの発生を理由に発生国への渡航の自粛、中止などの必要はありません。また、国内の旅行、移動も同様に、鳥インフルエンザウイルスの発生を理由にその土地への旅行や移動の自粛、中止などの必要はありません。但し不用意、無警戒に流行地の生きた鳥類のいる施設への立ち寄り、接触などは行わない方がよいでしょう。